

# 2018 年度

## 韓国留学帰国報告書

実習先：慶熙大学校

実習期間：9月3日（土）～12月21日（木）

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21017125  
横井 廉

## 目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	4
4	留学内容 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	
4-1	留学スケジュール	4
4-2	留学の詳細	7
5	当初目的・目標への達成度	8
6	反省・課題	9
	謝辞	9

## 1. 留学先及び実習期間

研修先：慶熙大学校 国際教育院

研修期間：平成 30 年 9 月 3 日（月）～12 月 21 日（金）

\* 帰国は 12 月 27 日（木）

## 2. 留学先概要

### （1）大学について

慶熙大学校は首都ソウルの回基という場所に位置している大学であり、ソウル、スウォン、カンヌンの 3 つのキャンパスに 20 の単科大学、7 学部、75 学科、15 専攻、及び一般大学院に加え、6 つの専門大学院、9 つの特殊大学院を備え、総合的な学術の殿堂を構築している。

### （2）大学で行われている教育について

慶熙大学は数ある大学の中でも韓国語・外国語専門教育機関に力を入れている。毎年世界 100 余か国・6000 名以上の在外同胞と外国人学生が韓国語と韓国文化を学んでいる。特に慶熙大学の大学（院）生と 1 対 1 で行なう「韓国語トウミ（チューター）制度」が充実している。韓国語ができない人でも日本のスタッフがついているので安心できる。授業レベルは初級 1 から上級 2 までの 6 段階あり、1 クラス 12～15 人の少人数で行われるので学習しやすい環境である。

## 3. 留学目的

韓国留学の目的は韓国語上達と韓国文化に触れてみたいという理由だ。韓国で生活することで韓国語を聞き取れるかどうか、会話することができるかを特に鍛えるという目的である。文化については日本との違いはほんとにあるのかを自分の目で確かめて違いをみつけるという目的である。普段授業で習っている学習時間では足りないと感じもっと上達するためには韓国に行き語学力を向上させることが大切なのではないかと考えたためである。

また、文化については日本では知ることのできないことを体で感じることもできるので、それを生かして帰国後にもなにか自分にとっての利益になるのではないかと考えた。

以上の 2 つのことを上達し、知識を得ることが今回の留学の目的である。

#### 4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

##### 4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
9	1 (土)		到着、入寮
	2 (日)		
	3 (月)	オリエンテーション、入校式	
	4 (火)	韓国語授業	韓国事業(特講)
	5 (水)	韓国語授業	セミナー
	6 (木)	現地学習	
	7 (金)	韓国語授業	
	8 (土)		
	9 (日)		
	10 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	11 (火)	韓国語授業	韓国事業(特講)
	12 (水)	韓国語授業	セミナー
	13 (木)	現地学習	
	14 (金)	韓国語授業	
	15 (土)		
	16 (日)		
	17 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	18 (火)	韓国語授業	韓国事業(特講)
	19 (水)	韓国語授業	セミナー
	20 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	21 (金)	修了式	
	22 (土)		
	23 (日)		
	24 (月)		
	25 (火)		
	26 (水)		

	27 (木)		
	28 (金)		
	29 (土)		
	30 (日)		
10	1 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	2 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	3 (水)	韓国語授業	セミナー
	4 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	5 (金)	韓国語授業	
	6 (土)		
	7 (日)		
	8 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	9 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	10 (水)	韓国語授業	セミナー
	11 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	12 (金)	韓国語授業	
	13 (土)		
	14 (日)		
	15 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	16 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	17 (水)	韓国語授業	セミナー
	18 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	19 (金)	韓国語授業	
	20 (土)		
	21 (日)		
	22 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	23 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	24 (水)	韓国語授業	セミナー
	25 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	26 (金)	韓国語授業	
	27 (土)		
	28 (日)		
	29 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	30 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	31 (水)	韓国語授業	セミナー

1 1	1 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	2 (金)	韓国語授業	
	3 (土)		
	4 (日)		
	5 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	6 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	7 (水)	韓国語授業	セミナー
	8 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	9 (金)	韓国語授業	
	1 0 (土)		
	1 1 (日)		
	1 2 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	1 3 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	1 4 (水)	韓国語授業	セミナー
	1 5 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	1 6 (金)	韓国語授業	
	1 7 (土)		
	1 8 (日)		
	1 9 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	2 0 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	2 1 (水)	韓国語授業	セミナー
	2 2 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	2 3 (金)	韓国語授業	
	2 4 (土)		
	2 5 (日)		
	2 6 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	2 7 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	2 8 (水)	韓国語授業	セミナー
	2 9 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	3 0 (金)	韓国語授業	
1 2	1 (土)		
	2 (日)		
	3 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	4 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	5 (水)	韓国語授業	セミナー

	6 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	7 (金)	韓国語授業	
	8 (土)		
	9 (日)		
	10 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	11 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	12 (水)	韓国語授業	セミナー
	13 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	14 (金)	韓国語授業	
	15 (土)		
	16 (日)		
	17 (月)	韓国語授業	韓国の歌
	18 (火)	韓国語授業	韓国事業 (特講)
	19 (水)	韓国語授業	セミナー
	20 (木)	韓国語授業	韓国の映画
	21 (金)	修了式	
	22 (土)	自由研修	
	23 (日)		
	24 (月)		
	25 (火)		
	26 (水)		
	27 (木)	出発	

#### 4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

- ・入校式

国際教育院で先生方の紹介があった。

- ・韓国語の授業

平日は午前9時から毎日授業があり、聞き、読み、書き、話す、の4つをローテーションしながら学んだ。秋学期になると、韓国語能力試験 (TOPIK) という特別授業が行われた。実際に過去問題を解いてみたことで、自分の韓国語の能力値を知ることができた。

- ・韓国の歌

最後の授業時に自分が好きな歌について発表し、毎週韓国のいろんなジャンルの歌を聴くことで韓国の歌のスタイルを知ることができる。また、歌を聞いて、聞こえてきた単語を書いてリスニング力を鍛える。

- ・特別講義

韓国の事情を知るための授業である。KPOP のダンスやテコンドー、ミュージカル公演を見たり、韓国の有名な場所に見学したり、国際教育院の校長からの話を聞いた。韓国人が日本人に対して抱いている感情や、日本と韓国の交友関係なども知ることができる。

- ・セミナー

最初の授業では韓国のマナーについての話を聞いて日本との違いはあるのかをみんなで話し合った。そのあとに、1人ずつ韓国と日本の比較についてパワーポイントを利用して発表した。発表内容は各個人が好きなものや興味を持ったものについて発表した。

- ・韓国の映画

韓国の映画を字幕なしで見て、その映画に出てきた人の性格や映画を見ての感想などを発表しあった。

- ・現地学習

N ソウルタワー、国立中央博物館、ロッテワールド、南怡島にバスで行った。南怡島は授業のクラスメイトと一緒に見学することで外国人と仲良くなるきっかけにつながった。

- ・修了式

学期が終わると行われる式である。成績が優秀だった人は表彰された。

- ・自由研修

残りの留学期間である。各自計画を立て行きたいところに行き、韓国文化に触れた。

## 5. 当初目的・目標への達成度

今回の留学目的の達成度についてそれぞれまとめる。

- ・韓国語の上達

正規過程を終えた後、特別講義の（TOPIK）の過去問を解いてみた際に来る前に比べて韓国語能力が向上したと実感した。韓国人との会話も少しは出来るようになった。帰国後に、韓国の本や新聞記事を読んでも何が書いてあるのかを理解することができ、頑張っよかったなど実感できた。この能力を衰退させないために、今後 TOPIK やハングル能力



試験などに挑戦していきたい。

#### ・韓国文化について

これは興味本位であったので全部知ることができたかどうかは分からないが、特別講義を聞いて韓国文化、韓国の歴史を知る授業があったのでそこで初めて知ることばかりだったので自分の一つの知識になったのはいい勉強になった。帰国後も日韓問題について積極的に調べるなど意欲を沸かせてくれたきっかけになったのでとてもいい経験になった。この知識を今後に生かしていきたい。

### 6. 反省課題

約4カ月海外での生活で、たくさんのことを学び、経験することができた。韓国と日本の違いを知り、自分自身大きく成長することが出来た。当初目的であった課題もクリアすることができ、充実した留学生活であった。

しかし、帰国後も継続的に韓国語の勉強を続けないと、韓国語能力が衰退するので、毎日勉強してさらに能力を向上させることが今後の課題になるので、しっかりと取り組みたい。

#### ・謝辞

今回4カ月、慶熙大学で丁寧に指導していただいた、ギル・ジス先生を始めとする国際教育院の先生方、その他大勢の方々に深く感謝申し上げます。また、留学前一緒に準備などを手伝ってくれた、シン・ウンジュ先生、吉澤文寿先生に感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただいた奨学金を利用して、今回の留学に参加することができ、心から感謝申し上げます。



